



栄光の未来

R5.8.30

第9号

部活動の 地域移行

保護者説明会を開催しました！

東石山中では、令和8年度から実施される部活動の地域移行について、学校独自の考え方で取り組むことを予定しています。8月21日（月）に開催した保護者説明会では、約30名の保護者から来校いただくとともに、オンラインでも多くの方から参加いただきました。

具体的な移行についての考え方や方法、実施のタイミング等について説明し、令和8年度のスタートに向けて、生徒の受け皿となる組織をこの地域でつくり、万全の体制で地域移行の年度を迎えられるようにするために、次の提案を行いました。



地域移行の「東石山中プラン」を説明しました。

〔提案の骨子(主なもの)〕

- 希望する生徒全員を受け入れることのできる体制をつくる。
- 現在の部活動で保護者会を組織してもらい、それが母体となって運営を行う。
- 指導を希望する教員、希望しない教員のそれぞれに対応できるようにする。
- 外部指導者や顧問がいなくても、保護者の見守りで生徒が活動できるようにする。
- 活動場所として、学校の施設・設備を開放する。
- 休日の地域移行を令和6年度から、平日については令和7年度から、それぞれ先行実施する。

説明後の質疑では、参加した方々から活発にご質問、ご発言をいただきました。今後、新潟市がどのように体制を整えるのか、また、地域移行後の大会がどのようになるのか、といった非常に大きなところがまだ明確になっていないため、先の見えない不安を抱いている保護者も多くいるかと思えます。

そのような状況ではありますが、骨子の1番目にある「一人も取りこぼさない」仕組みづくりこそが、地域移行を先行実施するにあたっての東石山中学校の責任、使命であると考えています。

生徒にとって大切な活動である部活動が、地域移行によって「地域運動活動」「地域文化活動」と形を変えることとなりますが、一人でも多くの生徒（これから入学してくる小学生も含まれます）にとって過度な負担なく選択でき、活動の時間と場が保障される状況となるよう、東石山中学校区での取組を進めたいと考えています。保護者の皆様にはご難儀をおかけすることがありますが、今回の提案を基本形として地域移行を進めていくことに、ご理解とご協力をいただきたいと思います。

暑さに負けず、順調にスタート！

約1か月間の夏休みが終わり、24日（木）から学校が再開しました。異常とも言える猛暑が続いていますが、授業や東翔祭の練習などに一杯取り組んでいる生徒の皆さんの姿を見て、頼もしく感じています。

暑さや感染症への対策を怠らず、生活リズムを整えて、心身ともに健康であることが、明日からの前期期末テストや来週の東翔祭につながります。自身でできる健康管理に努めていきましょう。455人の「運ジャーズ」の頑張りに期待しています。



テスト前の授業風景。仲間と協力して勉強！